



千葉労働動力

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話(鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043(222) 7207 番

94.7.22 No. 4032

のともたらしめ危機ドル高円

大失業、労働者保護制度 改悪、賃金体系の改悪：

六月末、為替相場ではついに一ドル＝一〇〇円を割り九〇円台となった。日本中は、この円高に八年のブラックマンデーのような衝撃が走った。日銀の必死のドル買い介入によっても値は動かず、未だ一ドル＝九〇円台となったままである。

新たなドル危機 の始まり

七月八日よりイタリア・ナポリにおいてサミットが開催された。当然ドル急落問題も議題となり、蔵相の合意として「一層のドル下落は望ましくない」などの点を各国が発表した。しかし具体的な対策は何も決まらなかった。

そしてそうした事態であるがゆえにサミットが終了後しても、ドル安は全く持ち直さないままに推移している。

つまり単に円高＝ドル安という状況ではなく、まさしくドルの一層の危機の深まり、信認の低下のあらわれだと言える。

確かにアメリカ・クリントン政権は、日本商品の対米輸出の条件を不利にすることを目的として、政策的に円高誘導を行ってきた。

しかし、円高＝ドル安となる基調には、アメリカの経常赤字がふ

くらみつけづけていること。経常赤字を穴埋めできない傾向が強まっている状況があるからこそ他にない。同時にアメリカは、巨額の財政赤字を抱えているのである。

アメリカは、八〇年代後半、世界最大の債権国から最大の債務国(借金国)となった。一九九三年末のアメリカの対外純債務残高は五千億ドルを突破した。他方、日本の対外純資産残高は六千億ドルを超えているから、日米の格差は一兆ドル(一ドル＝一〇〇円としても、一〇〇兆円)である。

そして九三年のアメリカの経常赤字は一千億ドル、そのうち対日赤字は六百億ドルとなっている。そうした危機を乗り切りのためにアメリカは、「経済安保政策」によって、対日圧力より一層強め市場開放を迫りつつ、「北朝鮮核疑惑」を口実にアジアでの支配権を握ろうとしているのだ。

ドル危機でますます労働者にし

わよせが

一九七一年、アメリカがドルでの金取り引き停止(ニクソンショック)を発表し、七三年ドル固定相場制が壊れ、変動相場制となっ

た。一ドル＝三六〇円の時代が終わったのだ。続くオイルショックにより、七五年の不況となる。このころ日本は、高度成長が終わり告げ、資本の過剰生産、過剰資本が問題となる。そして、景気を人為的に浮揚させるために国鉄をはじめとする膨大な公共投資、さらにはそれが息詰まると対アメリカを中心にした洪水のような輸出ラッシュを行い、危機乗り切りを図ってきた。

そして円高が進むにつれ、その危機乗り切り、輸出製品コストダウンのために、常に労働者への大合理化が襲いかかっていたのである。

そして現在の出口の見えない長期不況が世界的にきている。現在、OECD(経済協力開発機構)加盟二五カ国の失業者は、潜在的失業者も含むと五千万人にも達している。

失業サミットと言われたナポリサミットでも「雇用と成長」が第一テーマとなり、経済宣言では「規制撤廃、失業保険の削減」などが盛り込まれた。しかし「雇用の確保」などという言葉の裏には、「サミットに集まった各国首脳は「最低賃金、失業保険、雇用保障法」

の見直し、解体が「雇用の確保」と主張しているのである。労働者の保護政策の抜本的改悪を狙っているのだ。

いるのだ。

七月一九日、日経連は、坂本労相に「日本の最低賃金は、いまの円相場で見るとアメリカより四割も高い。」として「最低賃金の凍結」を申し入れた。また、八月に開催する日経連経営トップセミナーでは、「円高や規制緩和などによって今後、数百万人規模の過剰労働力(失業者)が出る」と想定されるから「出来るだけ失業者を出さないために」と称して「年齢と給与を切り離す以外道はない。」と年功序列型賃金体系を改悪することを明らかにしている。

すでに、長期不況乗り切りと称して、電機、繊維をはじめ多くの資本が中国やアジアへの工場進出を行っている。そしてこの円高がそうしたことに一層拍車をかけるに違いない。産業の空洞化の深刻化である。

そして過労死が日常となつている現在、資本はさらに労働者への搾取を強めようとしている。すべてのしわよせは、労働者に転嫁されるのである。

そして一方では、「北朝鮮の核疑惑」を口実に、アメリカ、日本は侵略戦争策動をより一層強めている。

われわれ労働者は、こうした時代を見据え、闘う必要性がますます強まっている。

- 8/1 津田沼不当事業配転地労委
- 8/6 9/10 ロッキーマナガサキ闘争

- 8/7 狭山集会
- 8/8 清算事業
- 8/8 団本務差別地労委